

埼玉ニュービジネス大賞

応募書類の書き方ガイド

— 迷わず書ける。通る書類は、ここが違う。 —

対象書類：①応募概要書（Word・1枚） ②応募申込書（Excel）

SNBC特別委員会

提出書類は2種類（＋任意の補足資料）

それぞれ役割が違います。両方そろえて提出してください。記載ができない箇所は空欄でも大丈夫です。

①

応募概要書

Word (.docx) / 1ページに収める

- ・ 審査員が最初に見る“表紙”
- ・ 事業名・キャッチフレーズ
- ・ 会社概要・連絡先
- ・ 事業概要・PRポイント
- ・ — 第一印象を決める1枚 —

②

応募申込書

Excel (.xlsx) / 詳細データ

- ・ 審査の“本体”となる詳細資料
- ・ 法人概要・沿革・役員
- ・ 事業の具体的内容（350字）
- ・ 新規性・革新性（450字）
- ・ 成果と将来ビジョン（450字）
- ・ 財務状況・業績・略歴

※ これらに加えて、任意で「補足資料」の提出も可能です（詳細は P.11）

書く順番はこれがオススメ

いきなり書き始めず、順序立てて進めるとブレません。

STEP 1

審査の観点を
確認する

どんな視点で
見られるか
を頭に入れてから
書く

STEP 2

申込書の
本文を書く

事業内容・新規性
・将来性をまず詰める

STEP 3

概要書に
要約する

申込書の内容を
1枚に凝縮

STEP 4

数字・財務
を埋める

事実関係を正確に
決算書を見ながら

STEP 5

読み返す
第三者チェック

誤字・文字数
・齟齬を確認

審査で見られる5つの観点

この5つの視点から評価されます。全てに答えられる書類を目指しましょう。

①

事業の新規性・革新性

既存の商品・サービスにない新しさ
業界の常識を変える革新性はあるか

②

起業家精神

なぜこの事業をやるのか
代表者の覚悟・熱量・ビジョン

③

経済・社会・地域への貢献

埼玉・社会への波及効果
雇用・課題解決・地域活性化

④

事業性（収益・成長・将来性）

実績または見込みで評価。
財務の健全性も含め総合評価

⑤

埼玉らしさ

埼玉への縁・地域を元気にしたい思い、
埼玉の魅力・地域資源の活用

①応募概要書－1ページで勝負する

審査員が最初に手に取る“表紙”です。ここで興味を持たれるかが決まります。

記載項目（上から順に）

1. 応募事業名

事業名 + キャッチフレーズ

2. 会社概要・連絡先

会社名※・代表者・所在地・資本金
従業員数・URL・連絡先

3. 事業内容

何をやっている会社か（1～2行）

4. 応募事業の概要

・PRポイント

ここが本体。何が新しく、
差別化要因は何で、競合他社に
なぜ勝てるかを凝縮

▶書くときの3つのコツ

1

1ページに収める

削って磨く。

2

キャッチフレーズは“覚えて帰れる”一言

審査員は何十件も読む。
一言で何の事業か伝わるか？

3

PRポイントは『誰の何を解決するか』

『新規性』 『市場』 『勝てる理由』
の3点を必ず入れる

※開業前の場合は会社名は空欄若しくは屋号、想定する会社名でも大丈夫ですが、HPの掲載、授賞式での変更はできません
のでご注意ください

②応募申込書－全体マップ

Excel1シート、大きく7ブロック構成です。

応募者情報	推薦者（任意）	(1) 法人概要	(2) 経営者・従業員
会社名(※)・代表者・所在地 連絡担当者・事業活動内容	推薦者がいる場合のみ 空欄でもOK	設立年月・法人概要 沿革	主要役員・従業員数 資本金・出資者・取引銀行
(3) 事業の概要	(4)(5) 財務・業績	(6) 代表者プロフィール	
具体的内容 350字 新規性 450字 将来ビジョン 450字 埼玉との関わり 300字 ★新設 売上構成・取引先 ★ 審査の本丸	BS・PLの3期分 見込み2期分	生年月日・学歴 略歴・資格・受賞歴	

※開業前の場合は会社名は空欄若しくは屋号、想定する会社名でも大丈夫ですが、HPの掲載、授賞式での変更はできませんのでご注意ください

★事業の具体的内容（350字）

“何をやる事業か”を 5W2H で整理すれば、誰が読んでも1回で理解できます。

▶ 5W2H で要素を漏らさず書く

What 何を	どんな商品・サービスを提供するか
Why なぜ	なぜその事業か／顧客の課題・ニーズ
Who 誰に	ターゲット顧客（業種・地域・属性）
Where どこで	提供エリア・販売チャネル
When いつ	開始時期・展開タイミング
How どうやって	提供方法・技術・ビジネスモデル
How much いくらで	価格・販売量・収益構造

▶ NG例 と OK例

× NG：抽象的で何の事業かわからない

「AIとDXを活用した革新的なソリューションで、社会課題を解決する次世代プラットフォームを展開していきます」

→ 何を作って誰に売るのが不明。
キーワードの羅列は逆効果。

○ OK：5W2Hが揃っている

「埼玉県内の中小製造業（Who）向けに、紙の作業日報の入力工数削減（Why）のため、スマホ撮影で自動集計するSaaS（What）を月額9,800円（How much）で提供する。2026年4月（When）から県内を皮切りに（Where）、クラウド配信（How）で、初年度100社導入を目標。」

→ 7要素すべてが埋まり、事業像が明確。

★新規性・革新性・優位性（450字）

応募書類の中で最も力を入れたい項目です。“なぜ勝てるのか”を言語化しましょう。

新規性

既存にはない
新しい要素は何か？

- ・ 新しい技術／素材
- ・ 新しい仕組み
- ・ 新しい市場
- ・ 新しい組合せ

革新性

業界の常識を
どう変えるか？

- ・ 従来比 何倍 / 何分の1
- ・ 手作業→自動化
- ・ プロ専用→誰でも
- ・ 数値で語る

優位性

競合に対して
なぜ勝てるか？

- ・ 特許／知財
- ・ 独自ノウハウ
- ・ 先行者優位
- ・ パートナー／販路

▶ 書き方のコツ

「〇〇と違って、当社は△△である」という比較構文を使うと、新規性・優位性が一発で伝わる。
抽象語（革新的／画期的／唯一）だけで終わらず、必ず 数字・固有名詞・比較対象 を添える。

★事業の成果と将来ビジョン（450字）

「実績」と「これからの絵」を両輪で書きましょう。

現時点の成果（事実）

- 売上・導入社数・ユーザー数
- 取引先・提携先（固有名詞OK）
- 受賞歴・メディア掲載
- 特許・認証の取得状況
- 顧客の声（定量・定性）

▶ “事実”で書く。推測や願望は書かない。

これからのビジョン（構想）

- 3年後・5年後の到達イメージ
- 目標売上・シェア・拠点数
- 市場規模と自社の獲得目標
- 資金調達・採用・拡大計画
- 埼玉・社会へのインパクト

▶ “数字”も書く。夢物語でもOK。ただし、ある程度の根拠や実績が必要

★埼玉との関わり・地域への貢献（300字）

新導入項目です。審査の③貢献・⑤埼玉らしさに直結します。“想い”だけでなく“根拠”を添えると良いです。

▶ この3点を盛り込む

1

埼玉との縁

本社・拠点/代表者の出身/
主な活動地域など

2

地域への想い・役割

埼玉を元気にしたい想い、
この事業で地域に果たす役割

3

地域資源の活用と波及効果

埼玉の人・自然・産業・特産の活用と、
雇用・課題解決などの波及効果

▶ 書き方の例

○ 縁・想い・資源・波及が揃う

「代表は川口市出身。市内の鑄造業の後継者不足を
目の当たりにし、埼玉のものづくりを次世代に
残したいと考えた。本事業は県内の伝統工房
（鑄造・盆栽等）と連携し、彼らの技術を
EC・体験観光へとつなぐ。初年度は県内
10工房と提携し、地域の雇用と取引を創出。
埼玉発の伝統ブランドを全国・海外へ発信し、
地域の誇りと経済循環を生み出す。」

→ 縁（出身）、想い（伝統を残す）、資源（県内工房）、
波及（雇用・取引）がすべて入っている。

▶ 書き方のコツ

- ・ “埼玉が好き”だけでは不十分。地名・固有名詞・数字（拠点・連携先・雇用人数等）で裏付けらると良い。
- ・ ③貢献（波及効果の大きさ）と⑤埼玉らしさ（縁・想い・地域資源）の両方が伝わると高評価。

数字まわりの注意点

ここが雑だと書類全体の信頼が落ちるので、細部まで丁寧に記載すると良いです。

単位は「百万円又は千円」

売上 1,000万円 → 「10」 百万円
単位を間違えると桁違いに見える

3期分の整合性

財務状況(BS)と業績(PL)で
同じ期の数字が一致するか確認

起業前は空欄でOK

無理に埋めなくても大丈夫です。

見込みは「見込み」と明示

前期が見込みの場合は
特記事項欄に理由を書く

売上構成比は合計100%

当該事業とその他事業の
内訳が合うように

略歴は20字以内／1行

長く書きすぎない。
年月と要点だけ

重要な注意事項 & 補足資料の活用

応募前に必ず確認。プラスアルファで差をつける

△ 応募前の重要確認

登壇者・代表者の変更は原則不可

01 申込者 = 登壇者

応募者本人が2次審査プレゼン・表彰式に登壇することが前提。
代理登壇は認められません。

02 後日変更は不可

応募後の法人名・代表者名・登壇者の変更は原則できません。

03 登記情報と照合を

応募申込書の法人名・役職・代表者名に誤りがないか、
登記情報・名刺と必ず照合。

▶ 書ききれない情報は補足資料へ

応募書類は文字数制限があります。
伝えきれない情報は「補足資料」として提出することが可能です。

補足資料で伝えたい情報（例）

- 1 ビジョン・ストーリー
- 2 顧客ニーズと市場規模
- 3 取扱商品・サービスと営業エリア
- 4 ペルソナと購入プロセス
- 5 競合と当該事業の重要成功要因
- 6 ビジネスモデル図
- 7 マーケティングプラン（商品・価格・チャネル・広告宣伝）
- 8 組織体制（各人の役割及び過去の実績・専門性）

PDF（A4用紙8枚程度）/ 1ファイル10MB以下

提出方法

専用フォームから簡単にアップロード

応募フォーム（専用URL）にアクセスし、書類をアップロード

Googleアカウント不要。URLにアクセスするだけで提出できます。送信後に自動返信メールが届きます。

① 応募概要書 Word (.docx)

1ページに収めた概要書。
審査員が最初に読む表紙。

必須

② 応募申込書 Excel (.xlsx)

事業内容・財務・略歴など
審査の本体となる詳細資料。

必須

③ 補足資料 PDF（A4用紙8枚程度）

応募書類で書ききれなかった
情報を補う資料。

任意

※ 各ファイル10MB以下。応募フォームのURLは募集要項・公式サイトに掲載します。

提出前チェックリスト

提出ボタンを押す前に、この12項目を確認すると良いです。

☐

概要書は1ページに収まっている

☐

事業名・キャッチフレーズが一言で伝わる

☐

文字数制限（350字・450字）を守っている

☐

「誰に／何を／どうやって／いくらで」が入っている

☐

新規性に「比較対象＋数字」がある

☐

将来ビジョンに定量目標がある

☐

決算数値が概要書と申込書で一致している

☐

単位（百万円）が統一されている

☐

法人名・役職・代表者名に誤りがない（登記情報と照合）

☐

連絡先・メールアドレスに誤りがない

☐

補足資料の要否を検討した

☐

第三者（同僚・顧問等）に読んでもらった

最後に

完璧より、まず書き始める。

書類は“自分の事業を言語化する”またとないチャンス。
書きながら、事業そのものが磨かれていきます。

— 埼玉から、次の挑戦者を。 —

埼玉ニュービジネス大賞 | SNBC特別委員会